

行田市景観計画 景観を考える市民ワークショップ 結果概要

1. 開催概要

(1) 開催目的

- 市民目線での景観特性や課題を把握し、景観計画へ反映させます。
…各種調査による定量的な把握・分析に加え、小集団でのワークを通して本市の景観特性や課題に関する生の声を捉えます。
- 本市におけるこれまでの/これからの景観まちづくりを周知します。
…本市がこれまでに行ってきた景観の取組や今後の方向性を共有する機会とします。
- 共同で進める景観まちづくりの入口として、市民の意識醸成を図ります。
…地域の景観的魅力や景観まちづくりについて、気付きや学びを得るとともに、「景観」というテーマを身近に捉え、関心や参画意識を高める機会とします。

(2) 開催状況

開催案内は、市報ぎょうだ1月号、市ホームページ、市公式 SNS に掲載するとともに、公民館等の公共施設にチラシを配布し、2日間で延べ30名に参加していただきました。

	開催日時	場所	参加人数
第1回	令和6年1月14日(日) 10:00~12:00	行田市商工センター 4階 401研修室	20名
第2回	令和6年1月22日(月) 18:30~20:30	行田市商工センター 4階 401研修室	10名

(3) 開催内容

- 事業概要説明(事務局説明)
…これまでに本市が実施した景観に関する取組、景観計画策定の目的について
- 埼玉県景観アドバイザーによる講演
…第1回 NPO法人都市づくりNPOさいたま 理事 安部 邦昭先生「景観とは」
…第2回 埼玉大学大学院理工学研究科准教授 深堀 清隆先生「景観まちづくりとは」
- グループワーク
…3つのテーマに分かれ、景観マップや景観資源カードをもとに「好きな景観」「もったいない景観」について、付箋に意見を書き出し、40分間話し合いました。
その後、別テーマに移動し、これまでに出た意見を共有するとともに、追加の意見や賛成意見を20分間話し合いました。
 - ・テーマ1：水とみどり
河川・用水・橋・土木遺産・親水護岸・サイクリングロード・農地・公園
花や木・市民活動について

・テーマ2：駅周辺・道路・公共施設

秩父鉄道行田市駅周辺、JR行田駅周辺・商店街のまち並み・店先の設え
住宅地のまち並み・街区公園・幹線道路・沿道の景観・市役所等公共施設
地域のイベントについて

・テーマ3：歴史・文化

古墳・遺跡・寺社仏閣・祠堂・旧街道・忍城址・足袋蔵・城下町のまち並み、地域の祭礼について

■ 発表

…ファシリテーターが各テーマの意見をまとめて発表し、全体で意見を共有しました。

■ 講評

…景観アドバイザーより、各テーマのまとめとグループワークの講評をいただきました。

(4) ワークショップの様子

■ 第1回 1月14日(日) 10:00~12:00



■ 第2回 1月22日(月) 18:30~20:30



2. グループワークでの意見

(1) テーマ1: 水とみどり

■ 好きな景観

- ・ 田園地帯の眺め・河川や水路沿いの季節ごとの風景・遠くの山々の風景
- ・ キタミソウの自生地など豊かな自然・河川沿いのサイクリングロード
- ・ 川の清掃や自然を保全する活動・地域で花を植える活動
- ・ 川に架かる橋・世界かんがい遺産に登録されている見沼代用水
- ・ まちなかにある水城公園・自然豊かなさきたま古墳公園・古墳からの眺め
- ・ 古代蓮タワーからの眺め

■ もったいない景観

- ・農地にある太陽光パネル・管理されていない田畑・河川の維持管理・遊歩道の未活用
- ・土木遺産や世界かんがい遺産の魅力発信不足・周囲になじまない建築物や屋外広告物
- ・道路沿いのみどりの不足

(2) テーマ2：駅周辺・道路・公共施設

■ 好きな景観

- ・秩父鉄道の昔ながらの駅舎・水城公園の木々の季節の移り変わり・通りの銀杏並木
- ・沿道からの富士山の眺め・裏通りやまちなかの路地・歴史のある祭礼や行事
- ・花手水やライトアップなどの新しいイベント

■ もったいない景観

- ・駅周辺のにぎわい不足・周囲になじまない屋外広告物・飲食店や休憩所の不足
- ・景観資源が点在しているため回遊性がない・中心市街地への公共交通が不十分
- ・まちの歴史を残す資源の消滅・市内外への魅力の発信不足

(3) テーマ3：歴史・文化

■ 好きな景観

- ・かぎの手や水路跡などの複雑な路地裏・蔵や昔ながらの建物・酒蔵からのびる煙突
- ・寺社仏閣・馬見塚橋とキタミソウの自生地・忍城の見える風景・まちなかの水城公園
- ・埼玉古墳群の眺め・沿道からの富士山の眺め

■ もったいない景観

- ・老朽化していく蔵や建築物やモニュメント・観光案内所や休憩場所の不足
- ・土木遺産や世界かんがい遺産の未活用・眺めを阻害する架線や電柱
- ・案内板や歴史、魅力の発信不足・公開している歴史遺産の発信不足

3. ワークショップの総括 ～今後景観づくりで大切にしたい視点について～

(1) 景観にまつわる想いも含めて伝えていくこと

- …目に見える景色だけでなく、ひとりひとりの風景に対する思い出やストーリーを紡いでいき、次の世代へ「かたち」だけでなく「おもい」も継承していくことが大切です。

(2) 人々の活動を大事にしていくこと

- …祭礼や行事など、人々の活動も景観のひとつの要素であり、それらを次の世代へ継承していくこと、その担い手を育成していくことも、景観づくりの中で大切な役割です。

(3) 景観の維持管理・市民活動の継続

…ロードサポートや花壇の整備、公園の花木の管理等の環境保全、足袋蔵や伝統建造物の保存活動、商店街や通りの店先の修景整備など、景観の維持管理や活動の継続に対する課題は多く、ひとりひとりが問題意識をもって行動することが大切です。

(4) 発信力の向上

…歴史や文化を背景に魅力的な景観資源が点在する行田市。3つのテーマのすべてで、「市内外への発信力の弱さ」が課題として挙げられました。地域に根ざした魅力は、そこに住む人だけでなく、その魅力を外へ発信することで、外の人々を惹きつけることができます。行田を訪れる人が増えることで、にぎわいが生まれ、まちの活力にもつながります。また、地域に住む人にとっても、まちの魅力を再認識でき、誇りや愛着をもつきっかけとなります。本市の魅力を発信していくことで、景観まちづくりの取組へとつなげていきます。

※事項からは、グループワークでの意見を景観マップへ反映したものを掲載しています。